

2024年10月4日

一般社団法人 日本医療検査科学会 国際交流委員会
2024年度第2回委員会議事録

1. 日 時：2024年10月4日(金) 15:00～15:50
2. 場 所：パシフィコ横浜 3F 317 会議室
3. 出席者(敬称略)：橋口委員長、康委員、萩原副委員長、佐藤委員、柳原委員、工藤委員、岡田委員、中沢委員、大川委員
欠席者(敬称略)：田畑委員、村上オブザーバー、菊池オブザーバー

4. 配布資料：

- ・ 審議事項、報告事項の資料、NCGM 国際展開推進事業申請ポンチ絵

5. 議事

1) 報告事項

1. AMTT との MOU 締結について

大川委員より、AMTT との MOU 締結についての報告があった。10/5 (土) 合同交流会の中、MOU 調印式を行う予定。

2. 第 56 回大会 国際交流委員会企画について

橋口委員長より、期間中に開催予定の国際交流シンポジウム 1 (International Symposium)、シンポジウム 2 (JACLaS 共催、JACLaS International Award and Symposium)、シンポジウム 3 (国際交流シンポジウム 3 : Young Scientists Symposium) についての説明がなされた。

2) 審議事項

1. 新規委員のオブザーバー加入および中国装備学会との連携

橋口委員長より中国装備学会との今後の連携、および吉本 倫子様 (シスメックス株式会社 学術本部) の国際交流委員会へのオブザーバー (現在、遺伝子プロテオミクス技術委員会委員であるため) としての参画の提案がなされ、両提案共に承認された。

2. 今後の国際糖尿病対策推進 WG の方向性について

橋口委員長より、今後の国際糖尿病対策推進 WG の方向性についての以下の議題提供があった。医療技術等国際展開推進事業へ二度の申請をしたが不採択となった。中心となっていた三浦委員が辞められたこともあり、今後の方向性について議論する必要がある。

各委員より、以下の意見が挙げられた。

- ・ NCGM も感染に目を向けているので、感染にアプローチするのも良いのでは。
- ・ 糖尿病学会との重複もある。本会は検査の学会だから標準化、精度管理など、より検査に関連したものに絞ってはどうか。
- ・ キーパーソン不在でできるのか、対象国としてインドネシアで本当に良いのか見直すべき

では。

- ・ NCGM への申請（助成金）にこだわる必要はなく、本会で行えることから実施してはどうか。
- ・ 糖尿病は重要であり、どこの国でも講演者がいるため良いテーマであり、糖尿病自体は続けていくべき。
- ・ 賛助会員への報告会において糖尿病のアンケートをどう活用するか、考えるべき。
- ・ 糖尿病は続けても良い。ただし、やり方を見直しては。
- ・ NCGM 事業での採択を目指したために、計画が壮大なものになっている。また、インドネシアと十分に議論できていない。シンポジウム合同開催など、本会で実行できるものから開始し、問題点、必要なものを再考してはどうか。

本件は継続審議となった。

3. 特別賛助会員報告会について

近々、特別賛助会員への報告会を開催することが承認された。

以上
(記録 大川)